建設業界にSDGsを

余剰資材をポータルサイトで取引

多士彩々

「建設現場で余り、お金をかけて廃棄される資材を無駄にせず循環させたい」。そんな思いから、業者同士が余剰資材を取引できるポータルサイト「ノコッタ」を作った八塩板金工業（朝霞市）の八塩雄一社長(62)。「建設業界にSDGs（持続可能な開発目標）を広げたい」と意気込む。【篇頭彰子】

八塩板金工業社長 八塩雄一さん(62)

やしお・ゆういち　1961年、秋田県生まれ。11歳から朝霞市で居住。18歳から板金職人として修行し、21歳の時に実家の「八塩板金工業」で働き始めた。2年後に父が他界したため、家業を継ぎ、有限会社化。2022年11月、長年、構想を温めていたポータルサイト「ノコッタ」（https://nokotta.com/sv/）の運用を開始した。

――建設現場ではたくさん資材が余るのですか？

◆建設資材は不測の事態に備え、必要量より多く発注するのが慣例です。多めに注文して余ったり、早く頼まないと間に合わないなどの理由で見切り発車で注文して使わなかったり、とさまざまな理由で使われない資材が各業者にあると思います。「いつか使う」と取っておきますが、サイズも色も素材も違えばマッチせず、たいていが、ほかの「ヨカッタ」につながればほどの願いを込めています。国の「事業再構築補助金」を活用して作りました。

――どのようなサイトですか？

◆「ノコッタ」ものい置き場所がなくなり、新品同然にもかかわらずお金を出して廃棄することになります。うちの会社は金属系外装専門工事を請け負いますが、そのような廃棄費用が年間100万円くらいかかります。余った資材をなるべく少なくしたい、捨てるくらいなら他の人に使ってもらいたいと思い、興味がある会員が質問するなどして取引します。無料広告の掲示板「ジモティー」みたいなイメージです。会員登録と資材出品、取引手数料は無料で、マッチングが成功した場合、資材の価格や引き取り日程などは直接やり取りできます。サイトは2022年11月に作ったばかりで国内250社しか登録しておらず、出品数も少ないです。出品数が増えれば増えるほどマッチング率が高くなるので、登録を増やしたいです。

――登録業者の反応はどうですか？

◆すぐに川口市の工務店が登録してくれ、うちの資材を譲り受けることが決まりました。また先日も、あるイベントにサイトの資料を持って参加しました。大阪の業者がとても興味を持ってくれ、「今度、大阪でイベントあると きはうちも大阪に行って参加しますよ！」と言い、仲良くなれました。サイトの事業を通し、いろいろな人と名刺交換でき、刺激になります。世の中のためにもなると思っていますし、資材機能以外にもつながりができ、仕事に結びつきます。

――八塩さんら「企業として環境を考える朝霞商工会員有志」が「余剰資材感謝フェア」を開いたそうですね。

◆5月30日の「ごみゼロの日」に朝霞市内で行いました。市内の10社が参加し、余った住宅用木材、屋根材、タイルカーペット、窓用ガラス、照明器具、扉機具などを持ち寄りました。来場者はその場で出展業者と有償や無償などで取引し、盛り上がりました。

――今後の目標は

◆サイトは多くの方に知ってもらい、多くの余剰資材を登録してもらわないと成り立ちません。まずは興味を持ち、気軽に登録、出品していただけるよう努めます。余剰資材を有効活用することは環境にも優しく、SDGsにも貢献しています。仲間と一緒になって、みんなのモッタイナイを減らしていきたい。全国に多くの仲間ができることを願っています。

TSテックが準決勝へ

3市町災害救助法

化粧品 生活

志木市

0円相当 料で配布 た。祭っ 動に取り 法人「パ マイルズ 区）が北 から寄付 を、市が って市民 した試み

ていたが、「最後まで行ってく の『最後まで』

被害

佐

天気

	かさ	熱中症	紫外線
さいたま	1 必要なし	2 警戒	4 非常に強い
熊谷	1 必要なし	2 警戒	4 非常に強い
秩父	1 必要なし	2 警戒	4 非常に強い
所沢	1 必要なし	2 警戒	4 非常に強い

天気欄　表示の説明

■きのうの気温の「-.-」は、機器の故障やメンテナンス時の欠測を示す

■月の出入りがない日や、前週・